

いけうち

乾燥による紙管の割れを半減 湿度管理で不良率削減とコスト低減を両立

霧のいけうち（株）いけうち）は、冬季の乾燥に悩まされる紙管製造業界に向け、安定した品質確保と生産性向上を実現する加湿システムを提案している。

著になる。これらは製品不良の増加のみならず、生産ラインの停止や検品工数の増大を招き、結果として甚大な生産ロスへと繋がる。

特に、紙管やファイバードラムといった筒状製品においては、乾燥による影響は深刻である。紙を多層に巻き重ねて成形する工程（素管製造）において、素材の含水率が低下していると、折り曲げや成形時に亀裂が生じやすくなる。これにより、頻繁な巻き直しや設備の停止を余儀なくされるほか、低湿度環境下では作り置き（在庫確保）が困難になるなど、生産計画の柔軟性も著しく損なわれる。

加湿システムで湿度を管理



管理

多くの現場では、季節変動や空調による乾燥を

防ぐため、人力での散水といった対症的な措置に頼っているのが実情である。しかし、こうした対応は時間外労働による人件費の増加や、エネルギーコストの浪費を招く。業務効率と労働環境の改善という観点からも、人手に頼らない、持続的かつ合理的な湿度管理システムの構築が急務と言える。

乾燥を根本から抑制する。導入工場では、割れ不良が半分以下に減少でき、湿度を安定化できたことで素管の作り置きが可能となり、生産計画の柔軟性が向上した。また乾燥対策として発生していた雑務が削減され、従業員の負担軽減と満足度向上にもつながっている。単なる加湿ではなく、製造工程全体に波及する改善効果を生む点が本システムの強みである。

霧のいけうち（株）は、製紙・繊維業界で多数の導入実績を持つ。平均粒子径7.5μmという超微細な霧を発生させることで、作業環境や製品を濡らさず効果的に湿度だけを与えることができる。さらに、霧化による気化熱の作用で室温を下げることで、冷房負荷を約10%低減させる効果も持つ。

2019971084

TEL 01

▼(株)いけうち

AirAKIは水・電

2019971084

TEL 01

▼(株)いけうち

AirAKIは水・電

2019971084

TEL 01

▼(株)いけうち

AirAKIは水・電

2019971084

TEL 01

▼(株)いけうち

AirAKIは水・電

2019971084

TEL 01

▼(株)いけうち

AirAKIは水・電

2019971084

TEL 01

▼(株)いけうち

AirAKIは水・電

2019971084

TEL 01

▼(株)いけうち

AirAKIは水・電

2019971084

TEL 01

※

蒸気加湿
からの

切り替えて、約 **%**
CO₂排出量を **削減**できる

- ✓ 現場を濡らさない最適湿度で静電気対策
- ✓ CO₂削減量のシミュレーションをご提案

※弊社シミュレーション結果より

0120-997-084 [営業時間] 09:00-17:00 (平日)

霧のいけうち | いけうち加湿 | 検索

ドラフト加湿システム | AirAKI®

フォグエンジニア